

心の復興音楽基金御中

東文学発第 17-173 号

2018 年 2 月 5 日

学校法人 東北文化学園大学

理 事 長 土 屋 滋



学校法人 東北文化学園大学 第九コンサート  
実施報告

1. 実施日 平成 29 年 12 月 3 日 (日) 15:00 開演 (14:00 開場)
2. 場所 東京エレクトロンホール宮城 (仙台市青葉区国分町 3-3-7)
3. 来場者数 1,425 名
4. 主催 学校法人 東北文化学園大学
5. 共催 公益財団法人 宮城県文化復興財団
6. 助成 2017 年度後期「心の復興音楽基金」  
平成 29 年度 宮城県文化芸術の力による心の復興支援助成金事業
7. 後援 宮城県、宮城県教育委員会、仙台市、仙台市教育委員会、河北新報社、  
NHK 仙台放送局、仙台放送、TBC 東北放送、KHB 東日本放送、  
ミヤギテレビ、東北文化学園大学同窓会、東北文化学園専門学校同窓会  
(順不同)
8. 協賛 東通インテグレート株式会社、キャノンシステムアンドサポート株式会社、  
熱研プラント工業株式会社、株式会社東北オフィスマシン、  
株式会社ユーメディア、株式会社スティック、有限会社ワードシステム、  
株式会社共立メンテナンス、株式会社学生情報センター、  
日本国土開発株式会社 東北支店、株式会社サンテック東北支店、  
株式会社紀伊国屋書店仙台営業所、株式会社広瀬組、  
株式会社朝日リビング仙台支店、宮城トヨタ自動車株式会社 南中山店
9. 出演者 指揮 飯森 範親  
管弦楽 仙台フィルハーモニー管弦楽団  
ソリスト ソプラノ 早坂 知子  
メゾソプラノ 在原 泉  
テノール 新海 康仁  
バリトン 小森 輝彦  
合唱 東北文化学園混声合唱団、東北大学混声合唱団、  
岩手大学合唱団、仙台宗教音楽合唱団、  
熊友会ヴォーカル・アンサンブル、  
盛岡バッハ・カンタータ・フェライン、  
山響アマデウスコア

10. 合唱指導 佐々木 正利、五十嵐 修、在原 泉  
 11. 練習ピアニスト 高塚 美奈子、高橋 麻子、石垣 弘子  
 12. 演奏項目 モーツアルト 交響曲第9番ハ長調 K. 73  
     ベートーヴェン 交響曲第9番作品125ニ短調「合唱付」

### 13. 内容

本学では、東日本大震災の復興を心から支える社会貢献の一つとして、第九コンサートに取り組んでいます。楽譜を読めない、ドイツ語にも初めて触れる学生が4月に集結し、実績のある錚々たる演奏家に支えられ、ベートーヴェン「交響曲第9番」を教材として4月から毎週1回の合唱練習を重ねてきました。同じ被災地である岩手大学や東北大学など精力的に合唱に取り組んでいる団体や、仙台フィルハーモニー管弦楽団に、ご協力を願い7年目を迎えました。

#### < 実施にむけて ~学生の様子~ >

本学では、東日本大震災後の平成23年12月16日（金）に、被災地大船渡にて被災者支援として、ベートーヴェンの「交響曲第9番」を歌う復興支援コンサートを実施しました。

そのコンサートの意義を引継ぎ、平成24年度からは本学の特色ある教育の柱の一つとして全学共通科目「TBGUプロジェクトI（輝けるもの）」としてカリキュラムに配置、全学部の学生が選択して受講できるようになっております。第九コンサートという芸術活動によって震災からの再生・復興に取り組んだ経験に基づき、本学が理想とする学生像「輝けるもの」を育む基本姿勢を象徴する科目として創設されました。音楽大学ではない本学の学生がプロの声楽家やピアニストから歌唱法の指導を受け、約8か月で本番の舞台へ立ちます。



平成29年5月1日（月） 4回目授業 →  
 (女子パートで発声練習をしている様子です)

2回目の授業より男女別の練習が始まります。ほぼ全員が初めて見るドイツ語の歌詞や、音階の複雑さに不安げでした。しかし、先生方が発音や発声の仕方、楽譜の見方など基本的な内容を、丁寧に指導。上達を実感し始める7月頃からは、楽しんで取組む様子が見られました。

← 平成29年4月10日（月）初回授業：ガイダンス  
 合唱部だった、先生に勧められた、友だちの付添い、本学でしかできないことにチャレンジしたいなど、様々な動機の学生が集まりました。

先生より、「大学の授業でオーケストラと一緒に第九を歌える素晴らしい体験をしましょう！」と、参加を呼びかけられました。その後、平成28年第9コンサートの様子（DVD）を見ました。



平成 29 年度は前期 16 回、後期 17 回の授業を実施しました。その過程には、通常授業の他に、10 月末頃より木曜日の夕方に行う、外部合唱団との合同練習も含まれています。学生たちは良い刺激を受け、飛躍的な上達を遂げました。



そして、12月1日（金）指揮者の飯森範親氏をお迎えし、学内の学生食堂で練習を行いました。平日にもかかわらず、岩手県・山形県の合唱団の方々もお越しくださいました。



12月2日（土）は、会場の東京エレクトロンホール宮城にてリハーサルを実施。仙台フィルハーモニー管弦楽団との練習に学生も感激している様子でした。また、今年も本学の合唱団 43 名に加え、東北大学混声合唱団 18 名、岩手大学合唱団 20 名、一般の合唱団（仙台宗教音楽合唱団 39 名、熊友会ヴォーカル・アンサンブル 14 名、盛岡バッハ・カンタータ・フェライン 12 名、山響アマデウスコア 23 名）の総勢 172 名の合唱団を結成。幅広い協働で第九コンサートを開催しました。本学といたしましては、学習成果の発表であることはもとより、積極的に他大学、合唱団などと連携して文化活動に取り組むことで、地域の振興と発展を図り、ひいては東北地方の復興や地域に住む一人ひとりの心の復興につながることを目指しております。



< 実施にむけて ~お客様の様子~ >

平成 29 年 10 月 9 日(月)の河北新報に広告を掲載し、4 日後には 1,155 通の申込み葉書で一般の方々の締切日といたしました。毎年、本学のコンサートを楽しみにしておられる方も多く、7 回目の開催ということで地域に根付き始めていることが分かりました。葉書に「楽しみにしております。私も家が半壊で避難生活も少ししました。早く皆が心の安らぎを持てる様、音楽を聴き、新しい年に向きたいと祈ります。」と、メッセージを書いて下さる方もおり、コンサートの意義を実感いたしました。



▲新聞に掲載した広告  
(平成 29 年 10 月 9 日河北新報朝刊 30 面)

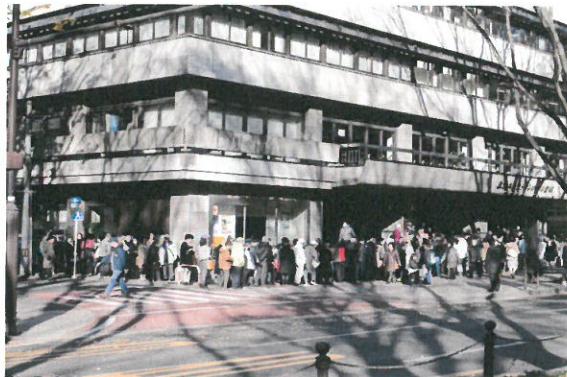


▲チラシ (表面)



▲チラシ (裏面)

12 月 3 日(日)開場の 1 時間以上前から、80~100 名近いお客様が良い席で聴こうと並んでくださり、コンサートには 1,425 名の方々がご来場くださいました。その中には、社会福祉協議会等の関係機関と連携して、優先的に仮設住宅や復興住宅の方々に入場券を配布いたしました。東松島市あおい地区にお住まいの 8 名の方、名取市愛島と箱塚の 4 名の方がお越し下さいました。



演奏後のアンケート(985 枚)にも、下記のような音楽の力により心が豊かになった、スケールの大きな演奏と合唱に大きな感動を覚えた、明日や新しい年へ前向きに生活していきたい等の記載がありました。※自由記述欄を、一部引用。

- ・心の復興音楽とうたったコンサート。素晴らしかったです。やはり生の演奏に心いやされます。又、来年もと思っています。
- ・久しくコンサートを聞く機会がなかったので、とてもワクワクし、感激しました。
- ・主人と二人で第九を歌った時がありました。震災前でしたので、思い出がよみがえり、たいへん感げきいたしました。涙ぐんでしまいました。
- ・すばらしいコンサートを拝聴して心が豊かになりました。

また「今回のコンサートが7回目ときき 2011.3.11 を振返りました。生かされていることに感謝です。」、「私も震災で家を流されました。こうして応援していただくとありがとうございます。ありがとうございます。」と、具体的に震災に関連した内容を書いてくださった方もおりました。

さらに、「クラシックのコンサートは、なかなか行く機会、予算がないため、今回はとても良かった。来年以降もぜひ続けてほしいです。」、「年金生活者は高額のコンサートにそう度々はゆけませんので、無料は大歓迎です。」等、入場料無料で聴ける機会として多くの方が支持してくださっています。

学生の学習成果の発表であることはもとより、積極的に他大学、合唱団などと連携した文化活動に取組み、心の復興につながるコンサートとなりました。今後も復興と発展、心の支援を目指して、音楽の力が心の活力となるよう、第九コンサートを継続することとしています。

平成 29 年 12 月 3 日 (日) 学校法人 東北文化学園大学「第九コンサート」  
« ステージ写真 »



演奏：仙台フィルハーモニー管弦楽団

14. 添付資料

- ・第九コンサートプログラム
- ・第九コンサート写真
- ・第九コンサート DVD

« 問合せ先 »

〒981-8851  
仙台市青葉区国見六丁目 45 番 1 号  
学校法人 東北文化学園大学  
学校事務局 局長 高橋 勝則  
Tel : 022-233-6116  
E-mail : katsu@office.tbgu.ac.jp

## 15. 経費報告

**交通費** ¥115,080 … ①

指揮者、ソリスト（3名）、合唱指導者（2名）：計6名分

・東京↔仙台 ¥11,200（片道）×2×3名分 = 67,200

・東京↔仙台 ¥11,000（片道）×2×1名分 = 22,000

・盛岡↔仙台 ¥6,470（片道）×2×2名分 = 25,880

**宿泊費** ¥204,000 … ②

指揮者、ソリスト（2名）、合唱指導者（2名）：計5名分

・¥12,000×4泊×2名=96,000：合唱指導者2名（11/30直前練習～12/3）

・¥12,000×3泊×1名=36,000：合唱指導者1名（12/1マエストロ練習～12/3）

・¥12,000×2泊×3名=72,000：指揮者、ソリスト（2名）

**練習時のピアノ（レンタル）の調律** ¥20,000 … ③

①～③の合計金額 ¥339,080

（うち支援申請額 ¥300,000）

以上